

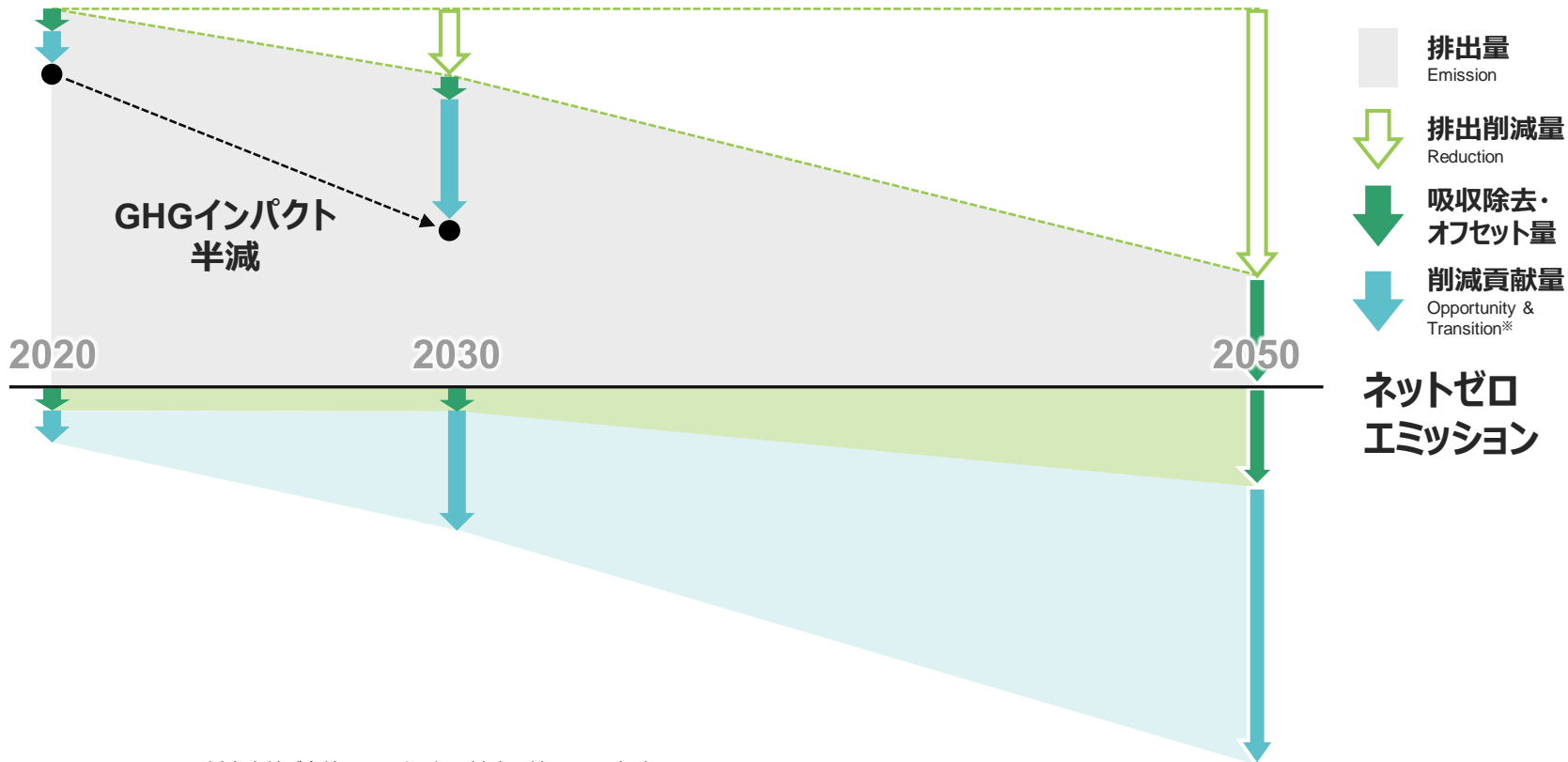
グリーントランスフォーメーションの 実現に向けて

代表取締役常務執行役員

CSO

佐藤 理

GHG削減における当社目標

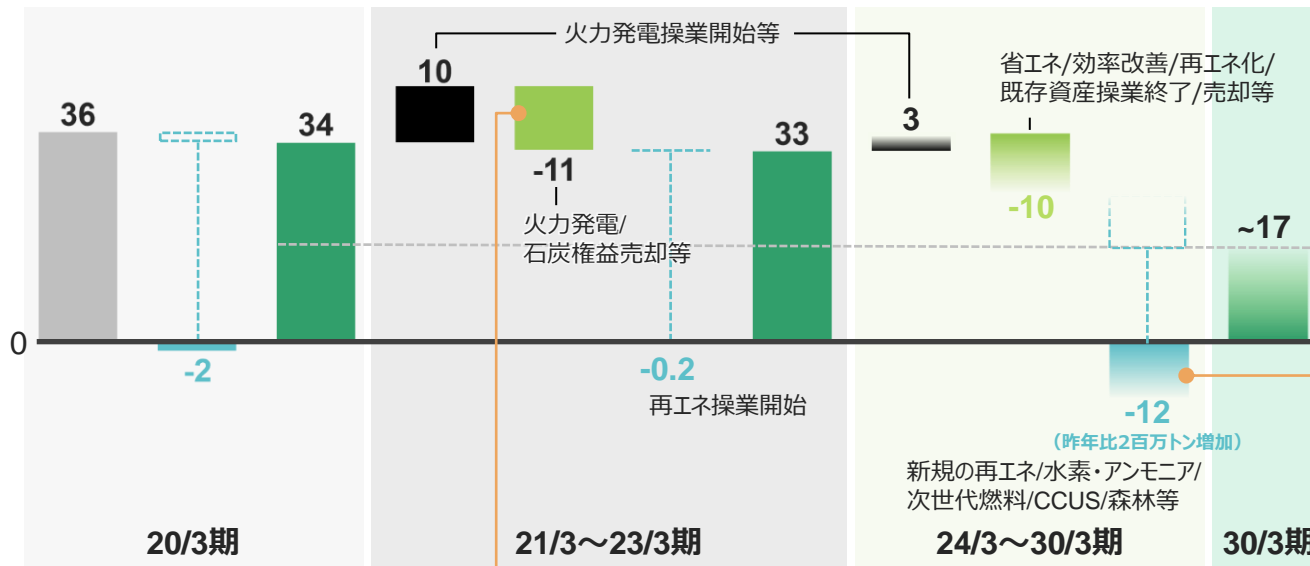


*Transitionについては、将来当社が自社でカウントし得る削減貢献量のみを想定

GHGインパクト半減に向けたロードマップ

Scope 1 + 2 + Scope 3 カテゴリ-15 (投資)

単位：百万トン-CO₂e



基準年総排出量

Scope 1 + 2 + Scope 3 カテゴリ-15

削減貢献増加量

事業を通じた社会の排出量削減

GHGインパクト

残存排出量-削減貢献量

排出増加量

新規操業開始等による排出増

排出削減量

自社事業の排出量削減

資産ポートフォリオの入替

- ・ 豪州原料炭事業会社 (SMC) の持分売却
- ・ 火力発電所 (Falcon) の持分売却

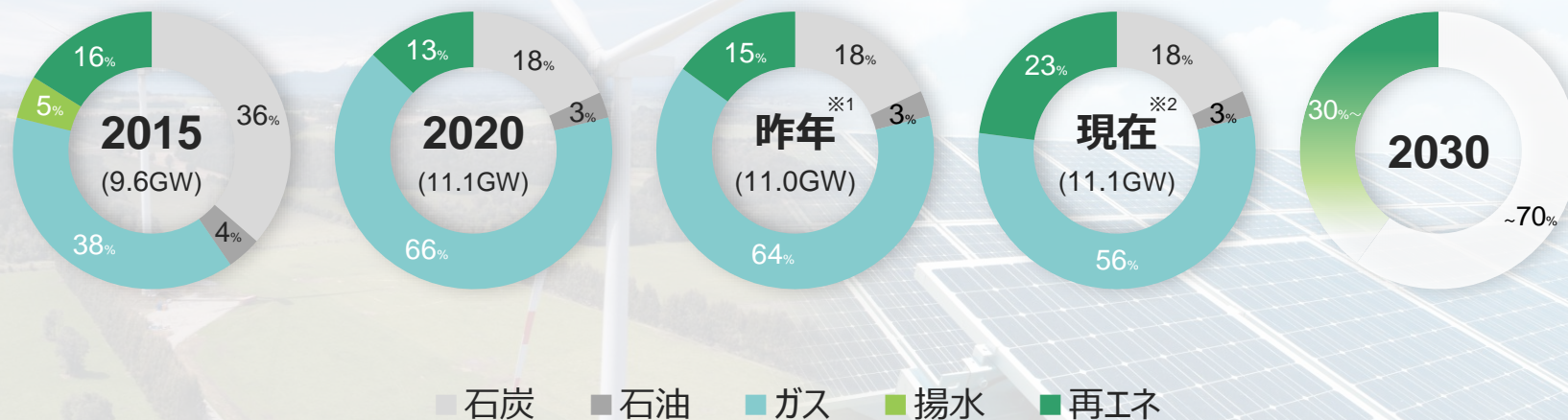
削減貢献事業の推進

- ・ Mainstream Renewable Powerへの参画
- ・ インド大型再生可能エネルギー事業に参画

※本数値は現時点での想定で、変動の可能性があります。

本グラフにおける削減貢献増加量には、P2における「吸収除去・オフセット量」に該当する数値を含みます

発電ポートフォリオの変遷



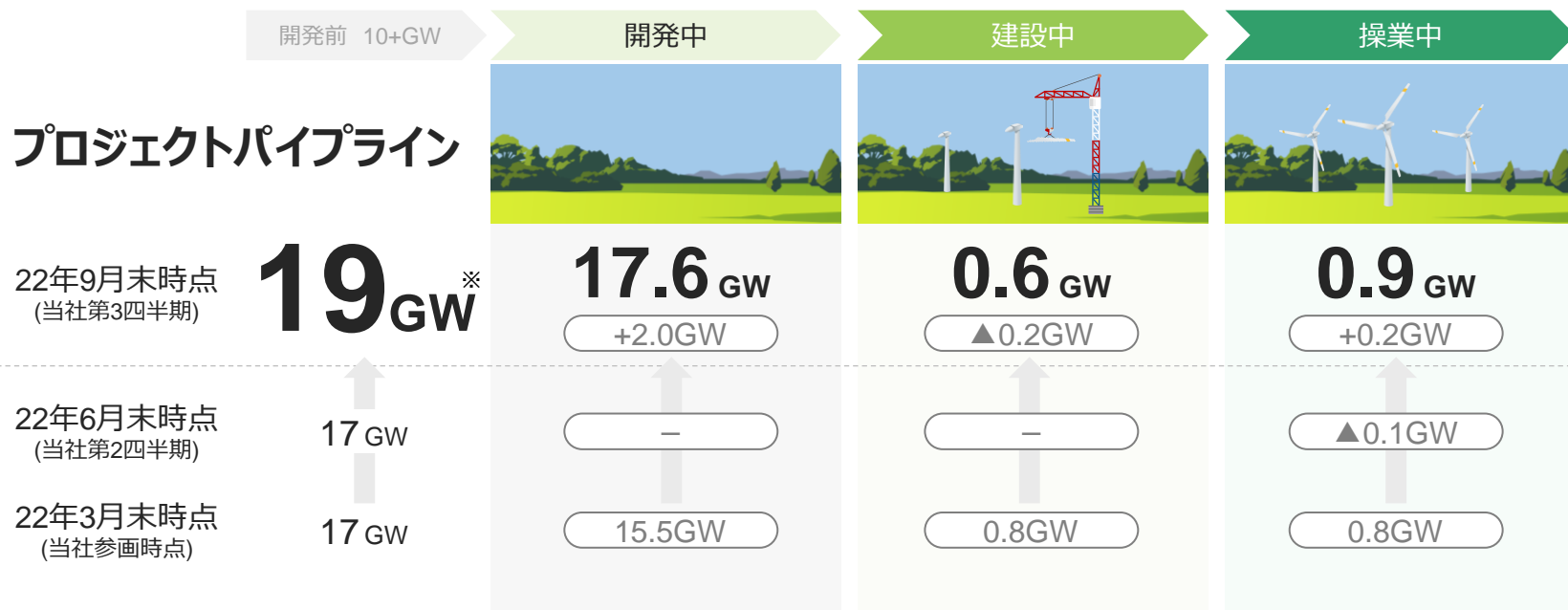
※1 2021年12月3日時点

※2 2022年12月2日時点

()内は当社持分容量計

再生可能エネルギー事業の進捗

Mainstream Renewable Powerの進捗

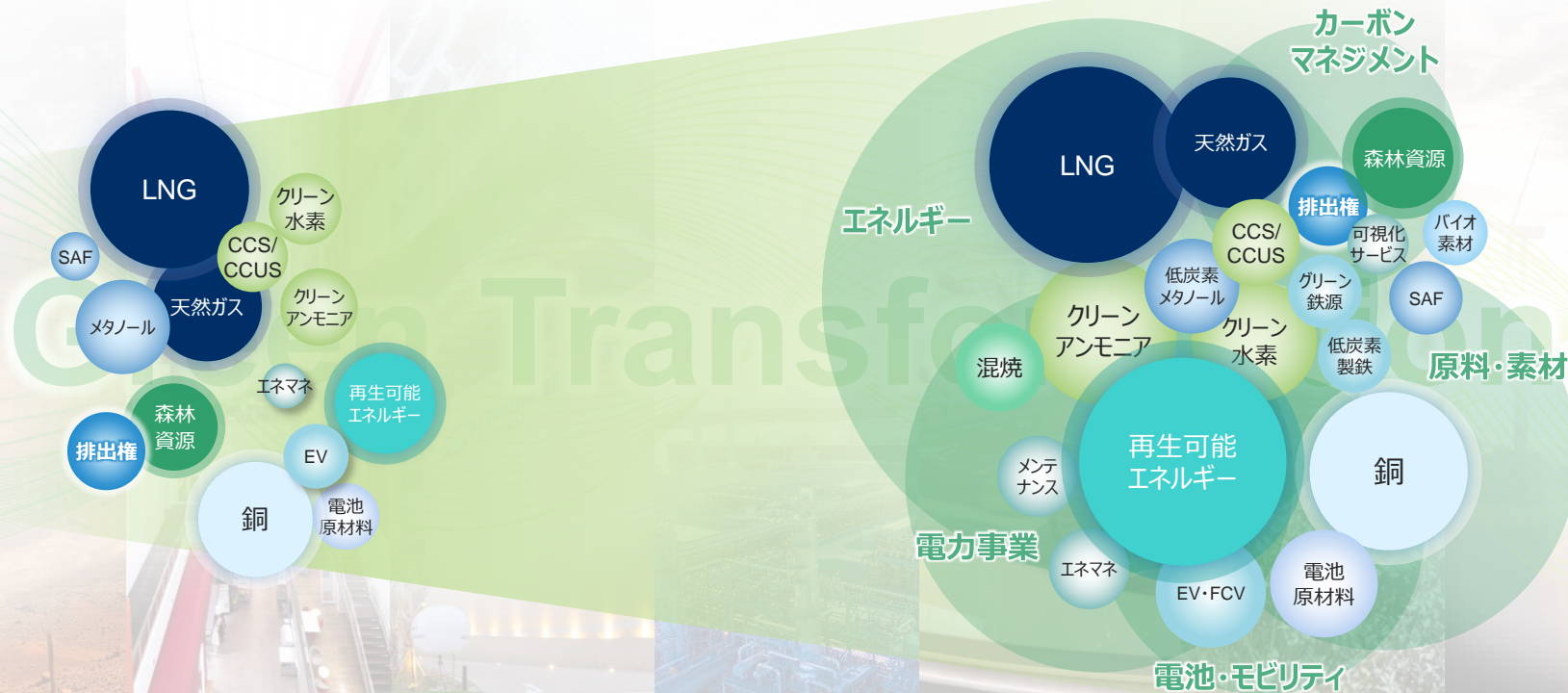


※Mainstream Renewable Power持分容量計
(出典)Aker Horizons

三井物産のグリーントランスフォーメーション

現在

2030



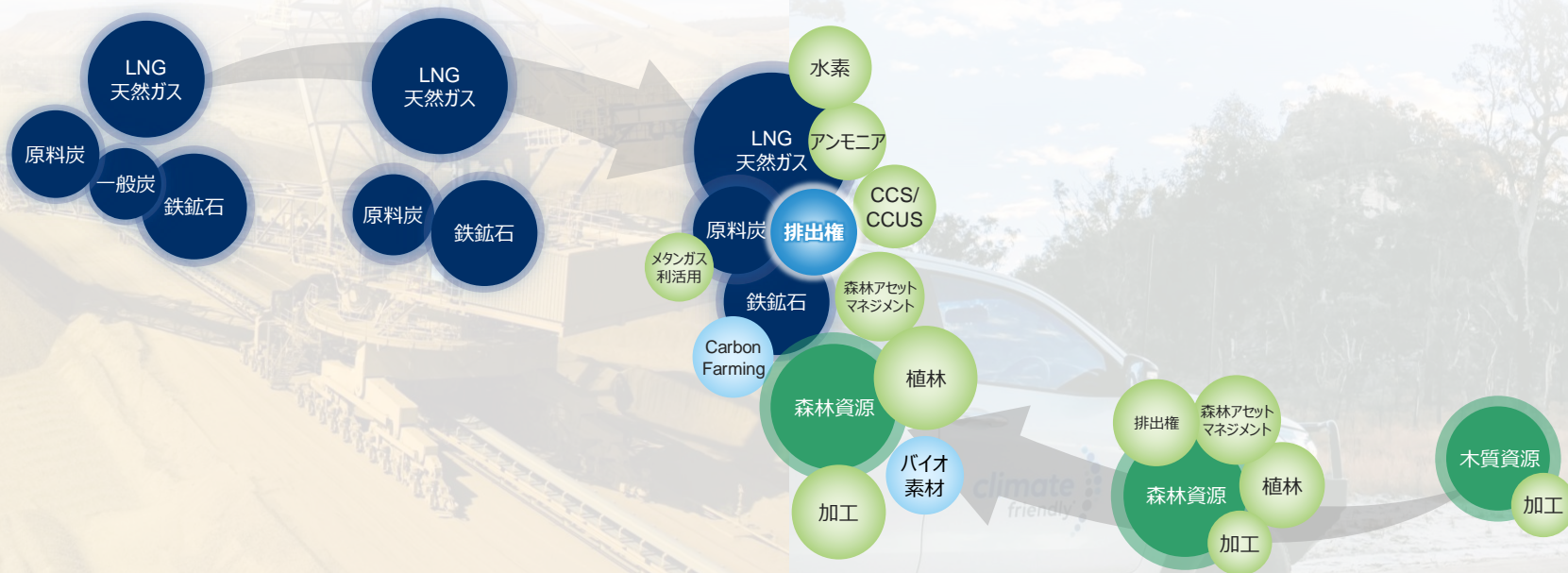
※それぞれの円の大きさは、投下資本並びに事業価値を示す

豪州におけるグリーントランスフォーメーション

資源事業の脱炭素化

気候変動対応
ビジネス拡大

気候変動対応を機会とした事業



豪州におけるグリーントランスフォーメーション

資源事業の脱炭素化

気候変動対応
ビジネス拡大

気候変動対応を機会とした事業

Hazer 水素・副生炭素 製造技術

西豪州Yuriグリーン水素

Waitsiaクリーンアンモニア・CCS



- ・ 排出権デベロッパー
- ・ 原生林の植生回復を通じ
排出権創出
- ・ 当社出資比率：33.7%

排出権

New Forests

- ・ 森林ファンドマネジメント事業
- ・ 植林事業・排出権創出
- ・ 当社出資比率：22.5%→49%*

*2022年5月に決定・公表済

事業を通じたサプライチェーン排出量削減への取組み

上流

資源開発

RE・CCS

RioTinto



原料・素材

リサイクル・
軽量化



Gestamp



輸送

次世代燃料



製品

EV・FCV



下流

排出権取引

取締役会等による監督体制の強化

取締役会での議論状況

- 主な付議・報告内容

2022年3月期

- サステナビリティ基本方針※
において取締役会の役割を明記
- 気候変動活動報告
- フリーディスカッション

※2021年11月策定

2023年3月期

- 役員報酬への反映
- 気候変動活動報告
- フリーディスカッション
- 財務と非財務情報の
結合性

2023年3月期より
「気候変動対応を含む
ESG各要素」を
役員報酬算定の評価要素に導入

気候変動については
「当社のGHG削減目標達成に
向けた事業進捗」が主な評価対象

ポートフォリオ変革の推進施策

~2020年3月期

2021年3月期

2022年3月期

2023年3月期

シナリオ分析の拡充

移行リスク分析の開始

対象事業領域の拡大

シナリオの追加

対象事業

- 石油・ガス開発事業／LNG事業
- 石炭事業
- 火力発電事業



- 鉄鉱石事業
- 石油・ガス関連インフラ／船舶事業
- 気候変動を機会とする事業（再生可能エネルギー、次世代エネルギー、森林資源等）

シナリオ

現行／2℃シナリオ



1.5℃シナリオ



物理的リスク分析の開始

物理的リスク分析の拡充（予定）

個別案件審査



社内カーボンプライシング制度



グリーン案件評価連絡会〔現在まで累計13回開催〕

Appendix



MITSUI & CO.

Appendix 1: GHG排出量内訳

2020年3月期 (基準年)

単位：百万トン-CO₂e

2022年3月期

2030年目標

2020年3月期 (基準年)	2022年3月期	2030年目標	
Scope1+2	4	0.6	
	<ul style="list-style-type: none"> 単体・連結子会社 0.8 Un-inco JV 3 	4	
Scope3 カテゴリ-15 (投資)	32	36	
	<ul style="list-style-type: none"> 発電事業 19 金属資源 8 エネルギー 3 その他 2 	<ul style="list-style-type: none"> 22 8 3 3 	
	合計	36	40
	削減貢献量・吸収量	▲2	▲2
GHGインパクト 34		半減 (目標値 17以下)	

Appendix 2: 社会からの評価

ESG評価機関スコア	2020	2021	2022 (2022年12月2日時点)
FTSE	3.4	4.1	4.3
MSCI 	BB	A	未評価
Member of Dow Jones Sustainability Indices <small>Powered by the S&P Global CSA</small> (Percentile Score)	94	99	98
 RATED *2 (数値は低いほど高評価)	20.2	19.3	17.0

GPIF採用 ESG国内株式指数	2020	2021	2022
2022 CONSTITUENT MSCIジャパン *1 ESGセレクト・リーダーズ指数	—	—	○
2022 CONSTITUENT MSCI日本株 *1 女性活躍指数 (WIN)	○	○	○
 FTSE Blossom Japan	○	○	○
 FTSE Blossom Japan Sector Relative Index	2022年から採用		○
 S&P/JPX カーボン エフィシエント 指数	○	○	○

*1 "THE INCLUSION OF MITSUI & CO., LTD. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF MITSUI & CO., LTD. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES."

*2 "Copyright ©2022 Sustainalytics. All rights reserved. This article contains information developed by Sustainalytics (www.sustainalytics.com). Such information and data are proprietary of Sustainalytics and/or its third party suppliers (Third Party Data) and are provided for informational purposes only. They do not constitute an endorsement of any product or project, nor an investment advice and are not warranted to be complete, timely, accurate or suitable for a particular purpose. Their use is subject to conditions available at <https://www.sustainalytics.com/legal-disclaimers>"

360° business innovation.



MITSUI & CO.